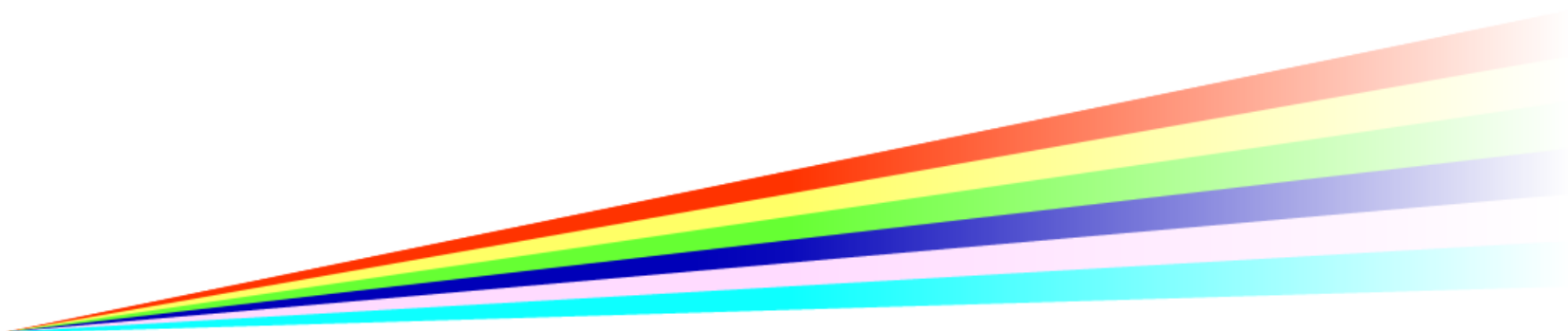


## 15.11期 決算説明会

# 国内での持続的成長 と 海外での飛躍的成長



2016年1月8日

キューピー株式会社

(<http://www.kewpie.co.jp/company/ir/>)

※この資料の数値は、表示単位未満をすべて四捨五入しております。  
また、比率と差額については百万円単位で計算しております。

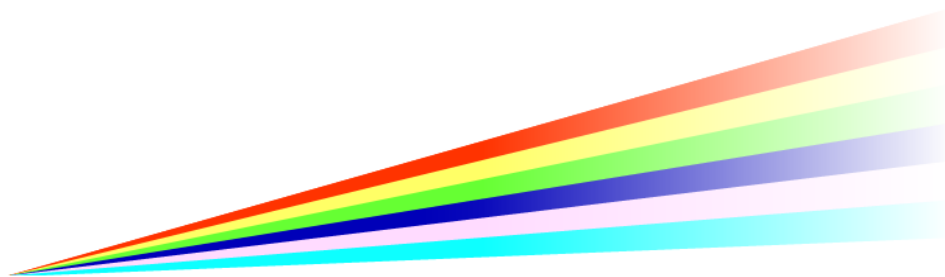
# = 目次 =

1. 15.11期 業績

2. 13-15年 中期経営計画の振り返り

3. 参考資料

# 15.11期 業績



# 15.11期 業績

前年に対し、売上高 248億円増、営業利益 21億円増の増収増益

	14.11	15.11実績	前年比	前年差	計画差
売上高	5,534億円	5,782億円	104.5%	+248億円	+52億円
国内	5,218	5,396	103.4	+178	+47
海外	316	386	122.1	+70	+5
営業利益	243億円	264億円	108.6%	+21億円	+4億円
国内	216	224	103.8	+8	△3
海外	28	40	146.1	+13	+8
営業利益率	4.4%	4.6%	—	+0.2%	0.0%
経常利益	254億円	273億円	107.7%	+19億円	+6億円
当期純利益	134億円	170億円	127.4%	+37億円	+12億円
ROE(自己資本純利益率)	7.0%	8.3%	—	+1.3%	+0.5%
ROA(総資産経常利益率)	7.3%	7.5%	—	+0.2%	+0.2%
EBITDA(営業利益+減価償却費)	405億円	455億円	112.3%	+51億円	△1億円

※計画差とは 15年7月公表計画との差

# 15.11期 売上高の状況

## 調味料事業やサラダ・惣菜事業が好調に推移し増収

	14.11	15.11実績	前年比	前年差
売上高	5,534億円	5,782億円	104.5%	+248億円
調味料	1,515	1,571	103.7	+56
タマゴ	995	1,048	105.3	+53
サラダ・惣菜	1,022	1,091	106.7	+69
加工食品	572	623	108.9	+51
ファインケミカル	107	113	105.5	+6
物流システム	1,268	1,277	100.8	+10
共通	55	59	107.3	+4

### ■事業別の状況

調味料	海外での拡大が進むとともに、国内はサラダ調味料が堅調に推移し増収
タマゴ	半熟技術を活用した付加価値品や料飲向け凍結卵の伸張、価格改定効果により増収
サラダ・惣菜	宅配ルートなどの新販路への展開や生産体制の強化により増収
加工食品	アヲハタ株式会社の連結子会社化や、調理ソース・育児食の伸張により増収
ファインケミカル	医薬用EPAは伸び悩んだが、通信販売会社の連結子会社化やヒアルロン酸の好調により増収
物流システム	既存顧客の受託エリア拡大や新規顧客の獲得などが進み増収

# 15.11期 営業利益の状況

## 海外展開や中食市場向け商品の伸張、コスト改善により増益

	14.11	15.11実績	前年比	前年差
営業利益	243億円	264億円	108.6%	+21億円
調味料	115	125	109.0	+10
タマゴ	38	54	143.7	+16
サラダ・惣菜	33	27	83.8	△5
加工食品	2	△3	—	△4
ファインケミカル	10	4	34.0	△7
物流システム	36	48	131.7	+11
共通	10	9	91.6	△1

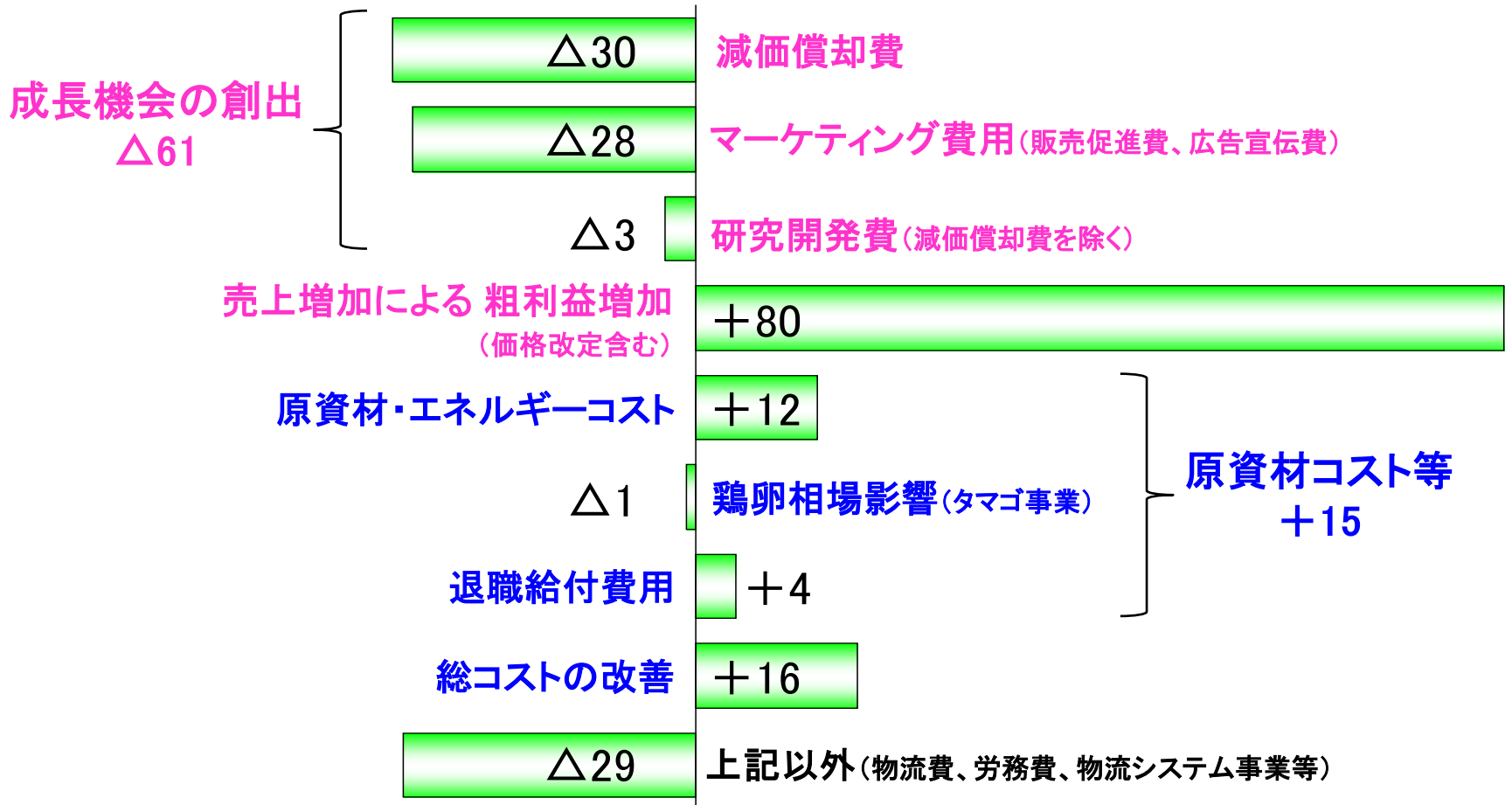
### ■事業別の状況

調味料	積極的な需要喚起で販売促進費は増加したが、増収効果やコスト改善などにより増益
タマゴ	付加価値品の伸張や価格改定の効果に加え、米国子会社の好調により増益
サラダ・惣菜	売上の拡大は進んだが、減価償却費などのコスト増加により減益
加工食品	不採算商品の整理は進んだが、連結子会社化によるコスト増加で減益
ファインケミカル	医薬用EPAの売上減少や通信販売会社の連結子会社化によるコスト増加で減益
物流システム	増収効果やコスト改善、燃料コストの減少などにより増益

# 営業利益の増減要因(前年差)

(億円)

	14.11	15.11実績	差
営業利益	243	264	+21



**$\Delta$ の合計 91**    $\leftarrow$  **+ 21**    $\rightarrow$    **+**の合計 112

# 営業外損益・特別損益等のポイント

(億円)

	14.11	15.11 実績	前年差
営業利益	243	264	+21
営業外損益	10	9	△2
経常利益	254	273	+19
特別損益	△8	14	+21
税引前利益	246	287	+41
法人税等 少数株主利益	112	116	+4
当期純利益	134	170	+37

## <営業外損益のポイント>

持分法による投資利益の増加	+ 2
為替差損の増加	△ 2

## <特別損益のポイント>

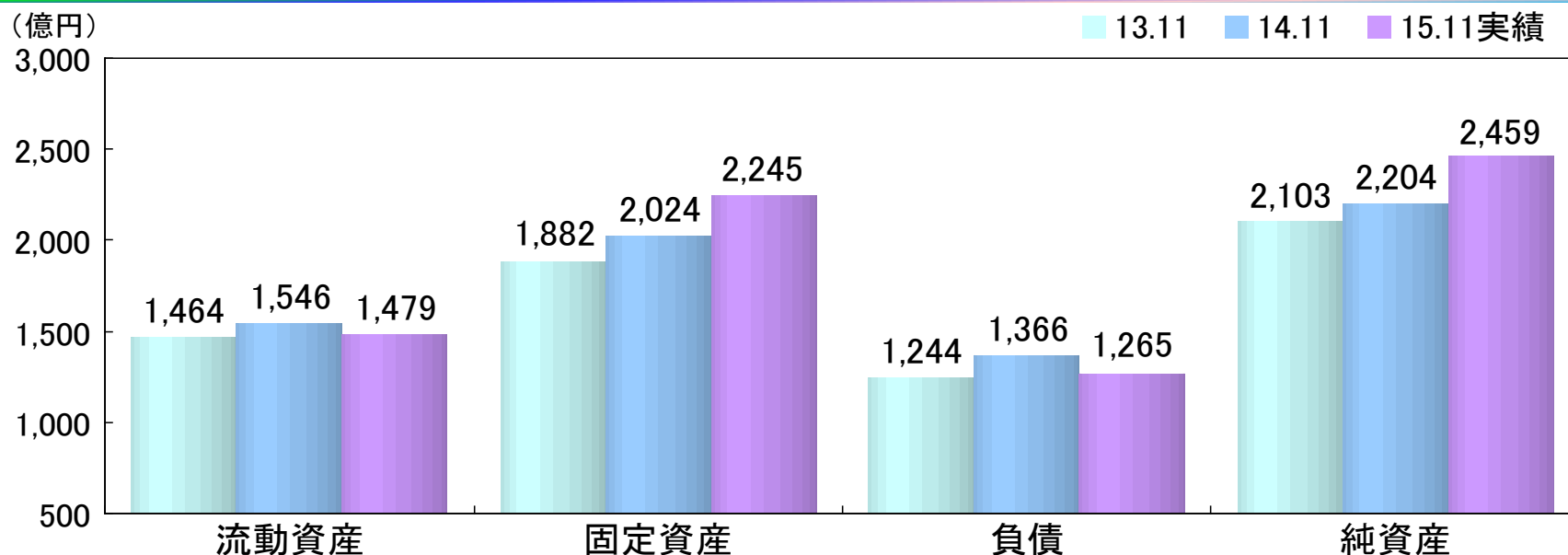
アヲハタ(株)連結子会社化 およびアヲハタ(株)の子会社との 合併による特別利益の増加	+ 29
---	------

## <法人税等、少数株主利益のポイント>

税率引き下げ影響等により 法人税等が減少	△ 3
アヲハタ(株)連結子会社化により 少数株主利益が増加	+ 7



# バランスシートの増減ポイント



## 14.11期との比較

### 流動資産は67億円減少

- ・ 現預金の減少  $\Delta$  50
- ・ 有価証券の減少  $\Delta$  50
- ・ たな卸資産の増加 + 55

### 負債は101億円減少

- ・ 買掛債務の減少  $\Delta$  86
- ・ 未払金の減少  $\Delta$  61

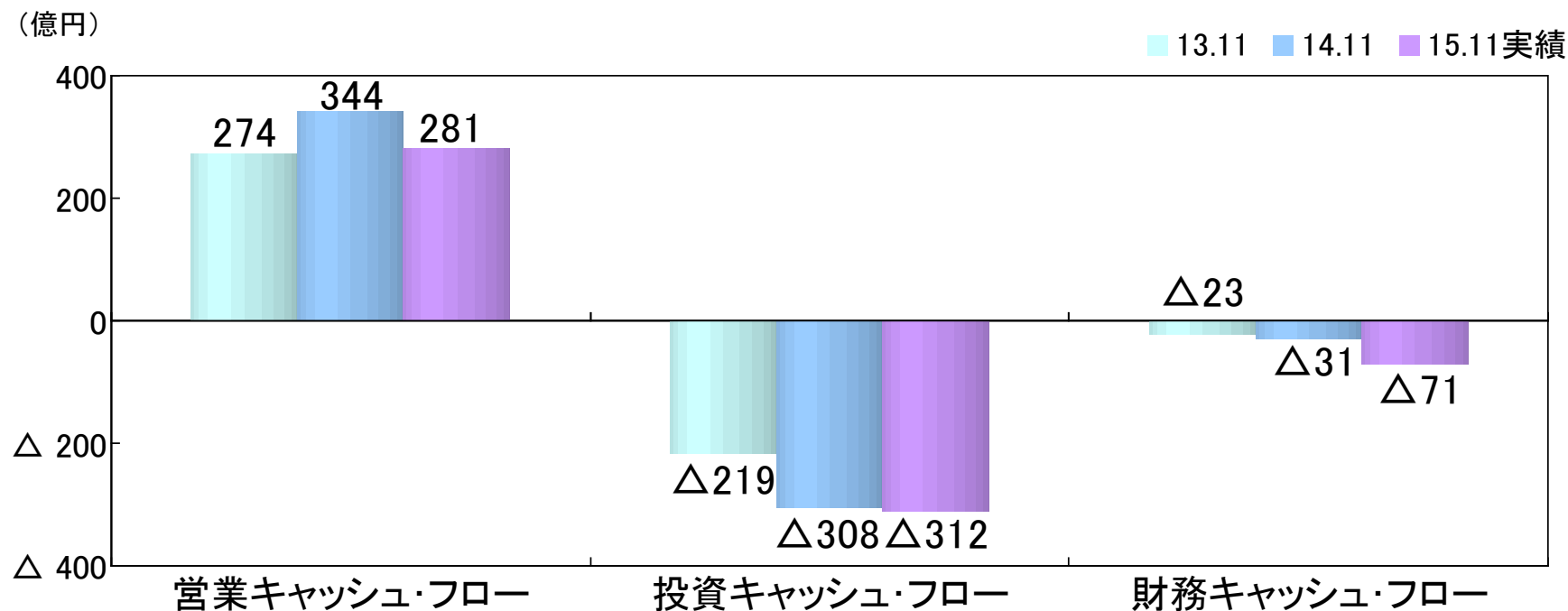
### 固定資産は221億円増加

- ・ 有形無形固定資産の取得による増加 + 299
- ・ 減価償却による減少  $\Delta$  191
- ・ アヲハタ(株)連結子会社化による有形無形固定資産の増加 + 37

### 純資産は255億円増加

- ・ 利益剰余金の増加 + 131
- ・ 少数株主持分の増加 + 65

# キャッシュ・フローの増減ポイント



## 14.11期との比較

### 営業キャッシュ・フロー

・ 税金等調整前 当期純利益の増加	+	41
・ 売上債権の減少	+	123
・ 仕入債務の減少	△	153
・ 法人税等の 支払額の増加	△	40

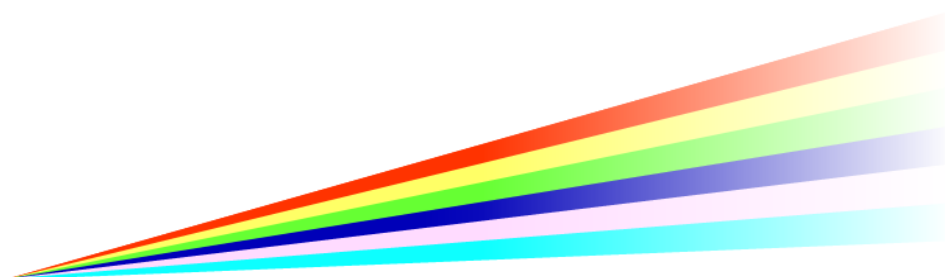
### 投資キャッシュ・フロー

・ 有形固定資産、無形固定 資産の取得の増加	△	21
・ 関係会社株式の 取得による支出の減少	+	22

### 財務キャッシュ・フロー

・ 借入金の減少	△	28
・ 子会社の自己株式 取得の増加	△	6

# 13-15年 中期経営計画の振り返り



# 13-15年 中期経営計画 業績

12年度に対し、売上高 732億円増、営業利益 31億円増の増収増益

	12.11	15.11実績	12.11比	12.11差	中期計画差
売上高	5,050億円	5,782億円	114.5%	+732億円	+182億円
国内	4,866	5,396	110.9	+530	+196
海外	184	386	209.8	+202	△14
営業利益	234億円	264億円	112.8%	+31億円	△1億円
国内	226	224	99.1	△2	△15
海外	8	40	500.0	+32	+14
営業利益率	4.6%	4.6%	—	0.0%	△0.1%
経常利益	245億円	273億円	111.4%	+28億円	+4億円
当期純利益	123億円	170億円	138.2%	+47億円	+29億円
ROE(自己資本純利益率)	7.4%	8.3%	—	+0.9%	+0.3%
ROA(総資産経常利益率)	8.4%	7.5%	—	△0.9%	△0.9%
EBITDA(営業利益+減価償却費)	375億円	455億円	121.3%	+80億円	+9億円

※中期計画差は 2013年1月に公表した13-15年中期経営計画との差

# 13-15年 中期経営計画 重点テーマについて

## 国内・海外ともに順調に成長

**【国内食品5事業での持続的成長】**

売上増加額 10-12年 +247億円

↓

**13-15年 +412億円**

(平均成長率3.5%)

**【海外での飛躍的成長】**

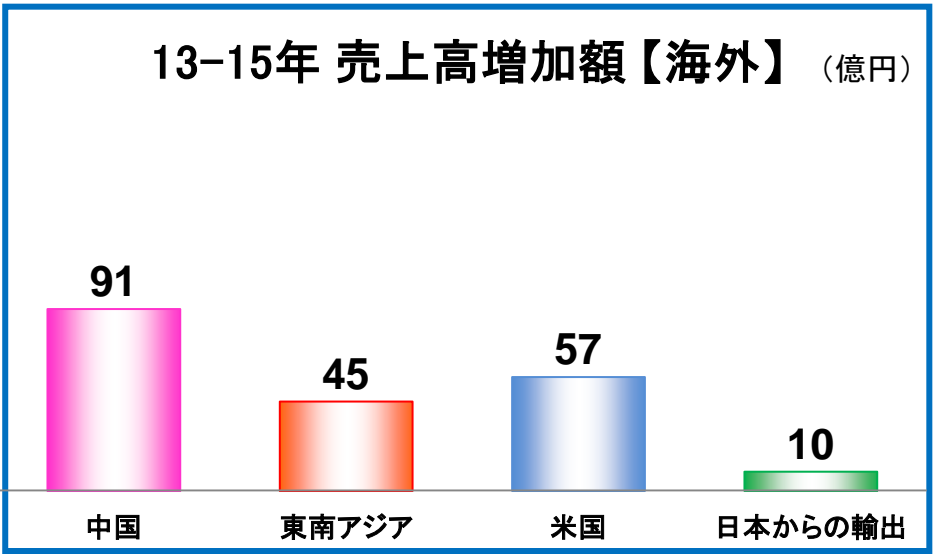
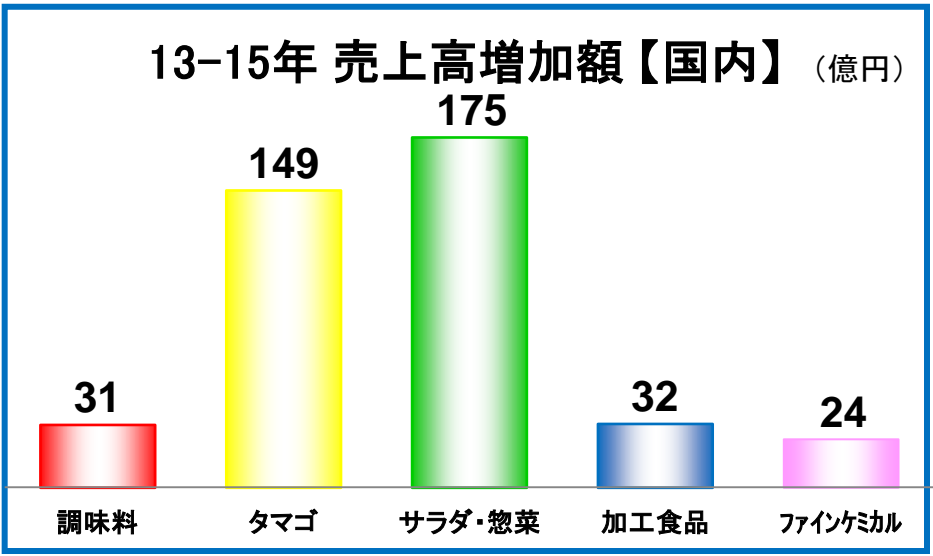
売上増加額 10-12年 +53億円

↓

**13-15年 +202億円**

※為替影響+108億円

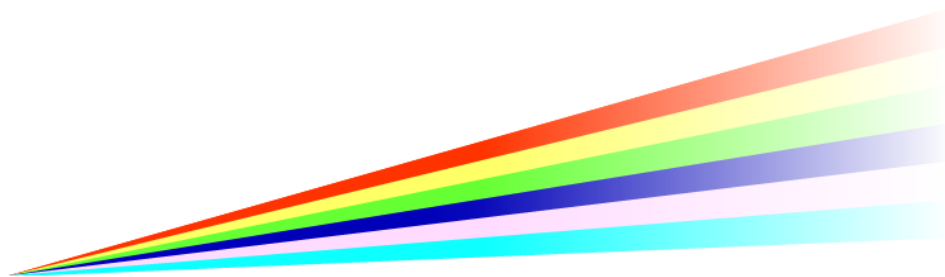
(平均成長率28.0%)



13-15年 中計の課題【国内食品5事業】  
**コスト増加により 営業利益 12.11比 1割減**

13-15年 中計の課題【海外】  
**日本からの輸出 計画未達**

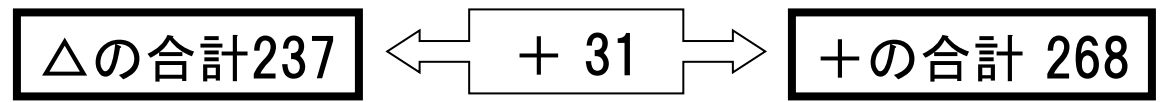
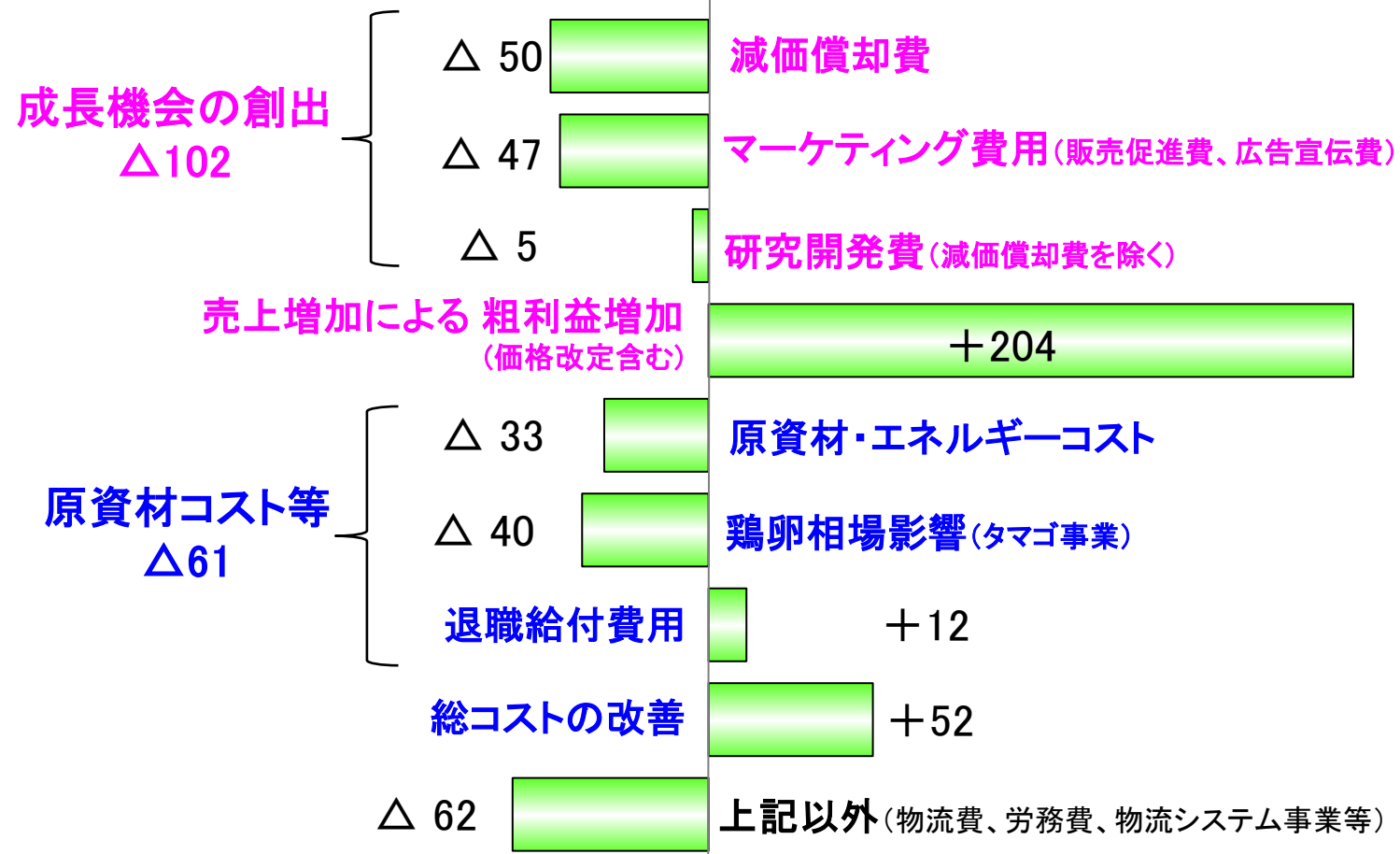
# 参考資料



# 参考) 13-15年 中期経営計画 営業利益の増減要因

(億円)

	12.11	15.11実績	差
営業利益	234	264	+31



# 参考) 業績推移

	(億円)					
	12.11	13.11	14.11	15.11実績	15.11計画	13-15年 中計
調味料	1,386	1,454	1,515	1,571	1,585	1,670
	115	115	115	125	126	116
タマゴ	856	912	995	1,048	1,030	940
	49	34	38	54	49	50
サラダ・惣菜	916	980	1,022	1,091	1,070	1,000
	31	35	33	27	30	35
加工食品	591	584	572	623	625	630
	△ 10	△ 9	2	△ 3	△ 2	0
ファインケミカル	83	97	107	113	125	140
	10	9	10	4	5	22
物流システム	1,157	1,203	1,268	1,277	1,240	1,160
	32	32	36	48	41	36
共通	62	76	55	59	55	60
	8	8	10	9	11	6
合計	5,050	5,305	5,534	5,782	5,730	5,600
	234	224	243	264	260	265

※上段数値は売上高、下段数値は営業利益

※15.11計画は、15年7月に公表した計画

※13-15年中計は、13年1月に公表した13-15年中期経営計画



# 参考) 設備投資、主要な販売費・一般管理費、営業外・特別損益

(億円)

	12.11	13.11	14.11	15.11実績	15.11計画	13-15年 中計
設備投資	209	271	301	324	412	195
減価償却費	141	146	161	191	196	181
販売促進費	195	205	214	235	225	221
広告宣伝費	79	79	80	87	88	83
物流費	289	305	320	333	332	322
労務費	243	254	265	287	287	265
研究開発費	34	37	39	42	46	49

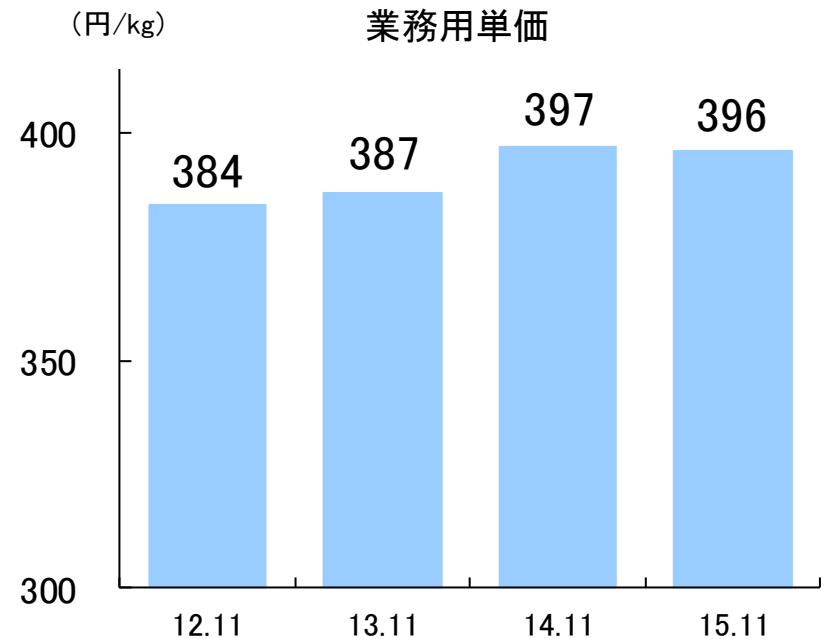
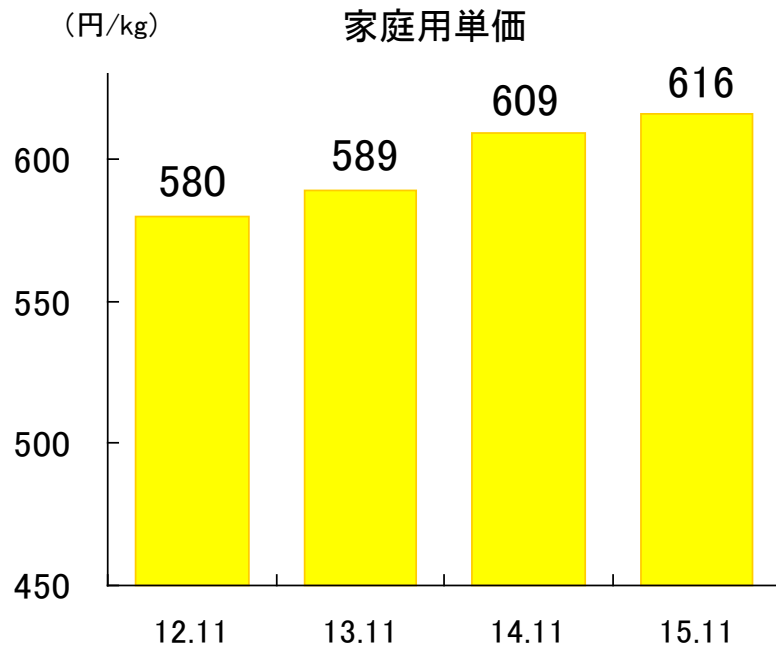
	14.11	15.11実績	増減内容(14.11と15.11対比)
営業外損益	10	9	持分法による投資利益の増加 +2 為替差損の増加 Δ2
特別損益	Δ8	14	アヲハタ(株)連結子会社化およびアヲハタ(株)の子会社との合併による特別利益の増加 +29

※15.11計画は、15年7月に公表した計画

※13-15年中計は、13年1月に公表した13-15年中期経営計画

# 参考) 国内のサラダ調味料業態別販売状況

		12.11	13.11	14.11	15.11実績	前年比
家庭用	数量 (千t)	127	128	125	126	100.6%
	金額 (億円)	738	754	761	773	101.6%
業務用	数量 (千t)	107	107	105	106	100.5%
	金額 (億円)	409	415	418	420	100.4%
合計	数量 (千t)	234	235	230	232	100.5%
	金額 (億円)	1,147	1,169	1,179	1,193	101.2%



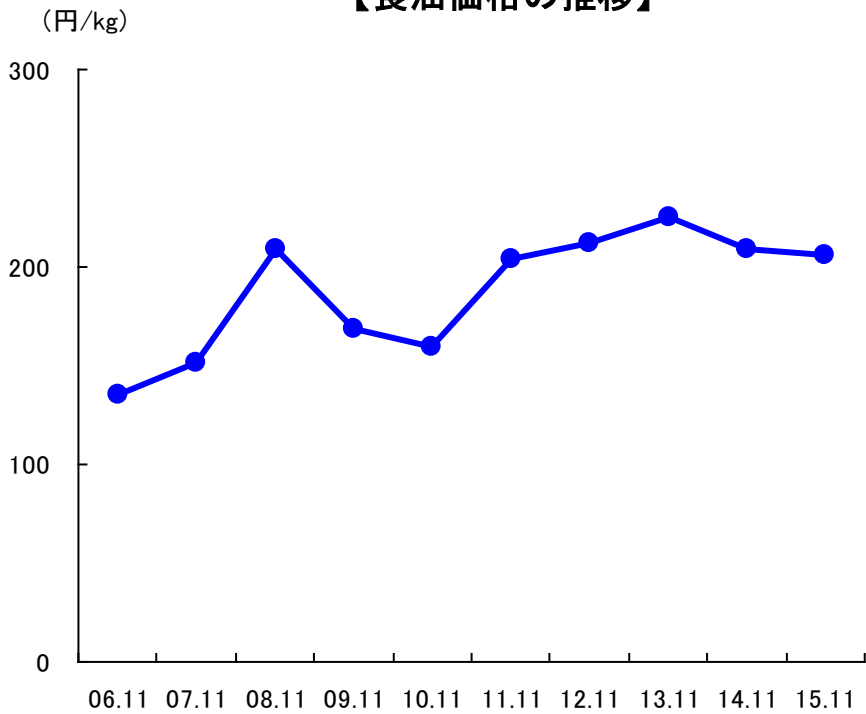
# 参考) 食油価格と鶏卵価格の推移

(円)

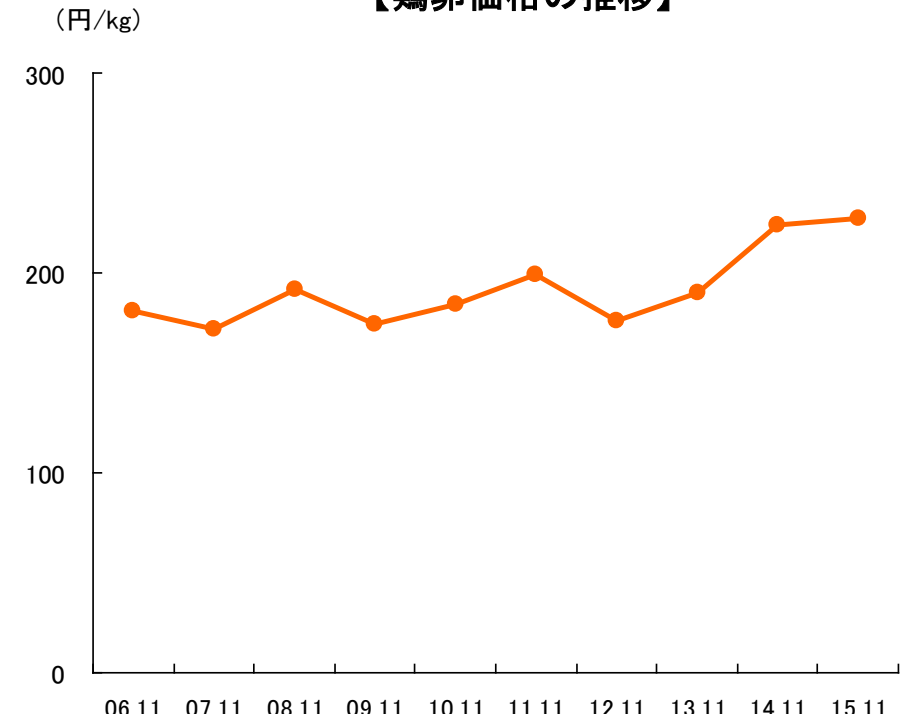
	06.11	07.11	08.11	09.11	10.11	11.11	12.11	13.11	14.11	15.11 実績
加工油脂向け ローリー相場平均価格 (1kg当たり)	135	152	209	169	160	204	212	225	209	206
全農東京 鶏卵相場 Mサイズ平均価格 (1kg当たり)	181	172	192	174	184	199	176	190	224	227

(各年12月～翌年11月の平均)

【食油価格の推移】



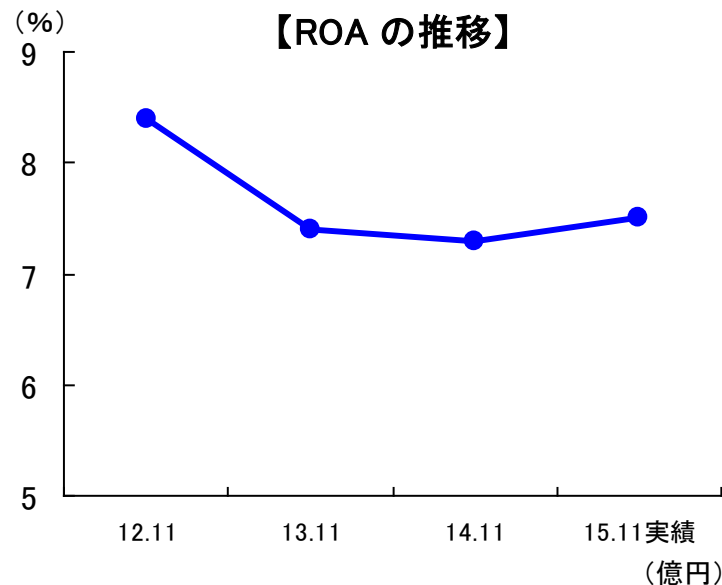
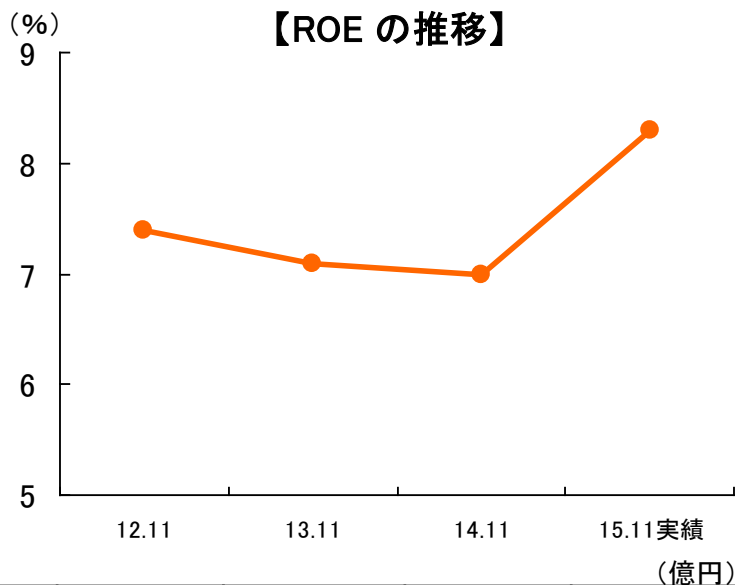
【鶏卵価格の推移】



# 参考) ROE・ROAの推移

(%)

	12.11	13.11	14.11	15.11実績	15.11計画	13-15年中計
<b>ROE</b> (自己資本純利益率)	7.4	7.1	7.0	8.3	7.8	8.0
<b>ROA</b> (総資産経常利益率)	8.4	7.4	7.3	7.5	7.3	8.4



	12.11	13.11	14.11	15.11実績
当期純利益	123	126	134	170
自己資本	1,709	1,842	1,951	2,141

	12.11	13.11	14.11	15.11実績
経常利益	245	237	254	273
総資産	3,065	3,347	3,570	3,724

※15.11計画は、15年7月に公表した計画

※13-15年中計は、13年1月に公表した13-15年中期経営計画

## 注意事項

この説明会資料に掲載されている、キューピー株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得られたキューピー株式会社の経営者の判断に基づいており、過度の信用を置かれませぬようお願いいたします。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

### 《お問い合わせ先》

キューピー株式会社

株式IR部 部長 小田 秀和

TEL : 03-5384-7783

FAX : 03-5384-7883

E-mail : [hidekazu\\_oda@kewpie.co.jp](mailto:hidekazu_oda@kewpie.co.jp)

..... 2016年1月18日以降のお問い合わせ先 .....

TEL : 03-3486-3055

FAX : 03-3486-6144

E-mail : [hidekazu\\_oda@kewpie.co.jp](mailto:hidekazu_oda@kewpie.co.jp)